

「ハツ場ダム建設事業の検証に係る検討報告書（素案）」に対する関係住民の意見聴取

平成 23 年 11 月 6 日（日）14:00～15:20

さいたま新都心合同庁舎検査棟

発言者：意見発表者 9

所沢市からまいりました●●と申します。今お配りいただいたこの資料、裏表、一枚の裏表の資料、メモとそれから片とじしてありますグラフ、1 ページ 2 枚、これをベースにこれに沿って、ほぼ沿って、お話をさせていただきたいと思います。まず最初に、今回のこの検証のそもそもの目的ですね、これは、有識者会議の中間とりまとめに書いてありますとおり、今、日本は五重苦、とも七重苦ともいわれる未曾有の国難にあると思います。その中で税金は蓄えがない、税金の使い方を根本的に見直さなきゃいかん、その一環としてなるべくダムに頼らない治水への政策転換、この理念を予断なしに追求することであるということで、その通りだと思います。そのためには、ダムを推進するという結論を合理化する、正当化するための検証であったわけではない、じゃないわけではありますが、実際には、先ほどから色々な方が言っているように非常に予断がある、結論が先にある、ダムを正当化するための検証、なりふり構わず数字を挙げていると、私は率直にそう思います。もちろん、これだけ大きな事業ですから色々な問題があると思います。色々な問題があると思いますが、さっき午前中推進派の方のご意見を聞いておりましたけれども悲しいほど、事実をきちっと正確に、客観的に見ておられないということを実感しました。その中でやや抽象的な感情論と言いますか、「命は大切」だったかな、その「治水というのが大切な政策だ」とか、「水の供給は安定的でなければいけない」とか、全くそのとおりだとは思いますが、今議論になっているのはそういうことではなくて、その全く正しいことをハツ場ダムを造って実現すると言うことが方法論として正しいかどうかという議論を各論を含めて議論していかなくてははいけない。もちろん我々でも認識不足のところがあると思いますが、だからこそこういうオープンな場で情報をきちんと公開して、意見を交換して、正しい理解をみんなが共有した上で判断すべきだというふうに思っております。その意味では、今この意見聴取にしてもパブコメにしても、あるいは 2、3 日前に行われた有識者からの意見聴取にしても、それなりに評価はできますが、実態をみますと、あまりにもショートノティスだし、200 ページにまとめるとか 400 ページにまとめるとか、色々な制約があつて、国交省が本気で謙虚に国民の英知を求めるという謙虚な姿勢が私には感じられません。国民には英知がありますよ。だからきちんと謙虚に聞いていただきたい。そう思います。その中で、ダムで、言ったように政策を検証する、物事を検証するということの原点は、前提条件をきちっと検証することから始まらなければならない。治水では、具体的に言えば、基本高水とかあるいは今回この目標水量とか、それが妥当かどうか。利水については、水の需給計画が正確かどうか。そこが正しく検証されてなければ、その後の検証が仮に正しかったとしても、結論は間違えますよね。最初のボタンを掛け違えたら、最後のボタンは掛からないというのは、皆様も小学校の時に習ったと思います。是非、そのの所を、わたしは基本高水のこと、詳しいことはよくわからないので、グラフ A をご覧頂きたいと思います。これはですね、これ 60 年と書いてあるけれども、1941 年、昭和 16 年から、今年が 2011 年だというと 70 年間で八斗島地点での年の最大流量、これをプロットした、これは国交省の資料から取ったんですけど、これを見ると、一番大きいところで、戦後の 2、3 年を除いて 9,200m³/s が最大ですね。戦後の 2、3 年というのはよく言われているように、あの地域一帯は裸だった異常値ですから、この時点ではかなり大幅にオーバーしていますが、これを除くと、10,000m³/s を超えたことがない、これが結果ですね。

もちろん 200 年を 1 スパンと考えれば、10,000m³/s を超える可能性は否定できないと思います。否定できないと思いますが、その大雨が降る時に、都合が良く八ッ場ダムの上流だけに選択的に降る可能性は全くない訳ですから、そういうギャンブルのような公共事業ではなくて、どんな洪水にも耐えうる形の政策、河道を掘削するとか、弱いところの堤防を強化するとか、そういうところに治水は落ち着くべきだと思います。そういうことを含めて、国交省が情報不開示だったということで、これはもう有名な話で、東京地裁でも見せろとの判決が下りましたので、補足しません。その(3)の最後に書いた文章は、もう恥ずかしいので大声で言いたくない。こんな事をしてまで進めなければいけない事業が、率直に考えてあり得ないんじゃないかと、私は思います。その次、利水の点についてでございます。これも、下の方のグラフですね、これも有名なグラフで、これも説明する必要はありませんが、1992 年のこの東京都の需要量から、ほぼ着実に減少の一途を辿っているわけですが。しかし、都の予測では依然として高止まりになっている。これが八ッ場ダムが必要だと、前提だと言っている資料であるということで、これ以上の説明は致しません。次に水利権に関して問題なのは、利水に対して問題なのは、暫定水利権という若干ややこしい問題があるのですが、これも詳細は省きますが、結果的に言うと、暫定水利権と言っているものも、事実上は安定しているんです、実績を見ても。ただ、暫定では不安だという犠牲者を知事の責任感、それを暫定ですよと。暫定を安定化させるためには八ッ場ダムにお金を出しなさいということでダムへの参加を誘導していると、私は思えてなりません。安定にするためには、無駄なダムに参加することではなくて、制度を変えれば済むことだと思います。3 番目、費用対効果、B/C、それも説明がわかりにくいところがありますが、B/C の国交省の試算では、分母の C、コストよりも、分子のベネフィットの方が大きいと。それが 3 であつたり、3.4 であつたり、6.3 であつたり、色んな計算をしておられますが、結果としてこれが 1 より大きいということは便益の方が大きいと、だから八ッ場ダムを進めろと言うことですが、このケースを色々見てみますと、私もひとつひとつ全部検証するノウハウはありませんけれども、茶番だというのは、今まで何回も皆さんが言うとおりで、この程度の杜撰な検証で良ければ、あるいはこの程度の正確さで良ければ、この便益の中にマイナス、ダムによるマイナスの便益をきちっと織り込まなければ行けない、このマイナスとはどういうことかということ、環境が破壊します、景観が破壊します、地すべりがあります、岩盤崩落の危険性があります、財政がアップアップします、地域が壊れます、景観が壊れます、こういうマイナスの便益をこの程度の正確さで私に作れと言われれば、B/C は 1 以下ではなくマイナスになる。その程度の計算はできます。その程度のことで判断をしてはいけないと思います。最後に完成時期と総工事費の増額。最近推進議連、それから都県の知事さん達も「2015 年までに完成せよ」と言っておられますが、ちょっと振り返ってみますと、2003 年。2003 年というのは工事費が 2,200 億から 4,600 億に膨れて、完成予定が 2010 年から 2015 年に延期された、その時であります、「コストアップするのはけしからん」と「不愉快だ」というコメントと「早く欲しいんだから、なるべく 2010 年までに作って欲しい」と「2010 年の完成と言うことが八ッ場ダムに参画する材料、判断材料となっている」というような事が記録に残っております。しかし、現実的には 2010 年は、物理的に不可能、2015 年も物理的に不可能。で、この間、国交省が言われたのは 2018 年になると言われましたけれども、私たちが専門家のアドバイスを踏まえてもう一回計算してみますと、こういった色んなプロセスがあつて、10 年はかかる、つまり 2020 年以降になる可能性が極めて高いと思います。別の言葉で言うと、最初の 2010 年が参画の前提なんだとすれば、それから 10 年も遅れると言うことになったわけですから、下流都県として、これは参加を原点から見直すべきだと思います。それから、建設費が大幅に増額されると。これは国交省自身も認めておられますが、国交省の計算の中には減電補償が入っておりません。これを含めてかなり巨額な税金の垂れ流しが、この国難の時

期に、また追加されるということを改めて強調したいと思います。私の話はそれで終わりますが、最後に一つ付け加えたいと思います。

今からでも遅くありません。ダムを止めるだけでも非常に意義が高い。少なくともマイナスが非常に減るといふふうに私は思います。自信を持って、今からでも遅くないから政策の変更をしていただきたいと思います。特に関東地整の方に、スタッフに申し上げます。皆さんは関東地整のスタッフとして、国交省のスタッフとして、このダムを進められているだけじゃない、職業上の心ならずも進めなければいけない職業上の必要があると思いますが、しかし皆さんは、国交省の職員である以前に日本の国民として、我々のように反対している連中みたいに何の利害を求めているわけでもない、イデオロギーにガイドされているわけではありません。率直に今後の日本のためにこういう有害な事業は止めて欲しいと、少しでも早く止めて欲しいということ。先ほどから聞いておりますと、それぞれ立派な主張をしておられます。それを少しでも取り入れていただいて、すぐやろうというような皆さんには要求するのは酷かもしれませんが、そういう方向で少しでもご努力を頂ければありがたいと思います。

以 上